

Name _____

Applicant Number _____

Fall 2012 A/O English Essay – New York

In a well-organized essay, choose a person who has helped you change and grow as a person. This can be a family member, friend, or teacher. Give specific examples of how he or she has helped guide you.

Name _____

Applicant Number _____

Fall 2012 A/O English Essay – Tokyo

This year Japan experienced an earthquake, tsunami and a nuclear disaster. In a well-organized essay, discuss how this event has changed your life and changed Japan.

慶應義塾ニューヨーク学院

二〇二二年度 秋季アドミッションズオフィス入学者選抜

「国語小論文」(ニューヨーク会場用)

注 意

- 一 机の上には受験票、問題冊子、筆記具、消しゴム等以外のものを置いてはいけません。
- 二 指示があるまでは、問題冊子を開いてはいけません。
- 三 この冊子の次のページに、小論文課題が印刷されています。確かめてから始めなさい。
- 四 解答時間は六〇分間です。
- 五 印刷に不鮮明な部分などがあつたら、声を出さずに手をあげなさい。
- 六 解答は小論文課題の注意事項に従って、解答用紙に記入しなさい。
- 七 問題の内容についての質問にはいっさい応じません。
- 八 すべて監督者の指示に従って静かに受験しなさい。
- 九 問題は回収します。持ち帰ってはいけません。

受 験 番 号

氏 名

左ページの文章を読み、あなたの考えを六百字以内で述べなさい。

注意 一、自分で考えた題名を、解答用紙の太枠の中に記入すること。

二、文章は縦書きで、いくつかの段落に分けて読みやすいように書くこと。

三、文字をできるだけ丁寧に、美しく書くこと。

われわれは子どものときから、嘘うそをいってはならぬものだということを、十分に教えこまれています。おそらく、世の中の人々は——一人の例外もなくすべて——嘘うそをいってはならぬものと信じているでしょう。理由はともかくとして、なんとなく皆そう考えているに違いありません。「嘘」という言葉を聞くと、われわれの頭にはすぐに、「狼おおかみがきたきた」と、しばしば嘘をついたため、だんだんと村人の信用を失うしなって、ついには本当に狼に食われてしまった羊飼ひつじかいの話が自然と浮かび出ます。それほど、われわれの頭には嘘をいってはならぬということが、深く深く教えこまれています。

ところが、それほど深く刻きざみこまれ、教えこまれているにもかかわらず、われわれの世の中には嘘がたくさん行われています。やむをえずいう嘘、やむをえるにかかわらずいう嘘、ひそかにいわれ陰かげに行われている嘘、おおっぴらに行われている嘘、いや時にはルールによって保護された——したがってそれを否定すると刑罰けいばつを受けるようなおそろしい——嘘までが、堂々と天下に行われているほど、この世の中には、種々雑多な嘘が無数に行われています。

実をいうと、全く嘘をつかずにこの世の中に生き長らえることは、全然不可能なようにこの世の中ができています。

(末広厳太郎『嘘の効用』より抜粋、一部加筆)

慶應義塾ニューヨーク学院

二〇二二年度 秋季アドミッションズオフィス入学者選抜

「国語小論文」(東京会場用)

注 意

- 一 机の上には受験票、問題冊子、筆記具、消しゴム等以外のものを置いてはいけません。
- 二 指示があるまでは、問題冊子を開いてはいけません。
- 三 この冊子の次のページに、小論文課題が印刷されています。確かめてから始めなさい。
- 四 解答時間は六〇分間です。
- 五 印刷に不鮮明な部分などがあつたら、声を出さずに手をあげなさい。
- 六 解答は小論文課題の注意事項に従って、解答用紙に記入しなさい。
- 七 問題の内容についての質問にはいっさい応じません。
- 八 すべて監督者の指示に従って静かに受験しなさい。
- 九 問題は回収します。持ち帰ってはいけません。

受 験 番 号

氏 名

小論文課題

左ページの文章を読み、あなたの考えを六百字以内で述べなさい。

注意 一、自分で考えた題名を、解答用紙の太枠の中に記入すること。

二、文章は縦書きで、いくつかの段落に分けて読みやすいように書くこと。

三、文字をできるだけ丁寧に、美しく書くこと。

人間は「公平」を好みます。特に「不公平」のために苦しみぬいた人は、何よりも「公平」を愛します。「法の前には平等」これが一般の国家社会に対する根本的要求です。そうして、いわゆる「法治主義」は、実にこの要求から生まれた制度です。

法治主義というのは、あらかじめルールを定めておいて、すべての物事をそれにしたがって行おうという主義です。いわばあらかじめルールというものさしを作っておく主義です。ところが元来ものさしは固定的でなければなりませんし、それを本質とするのです。例えば、ゴムでできた伸縮自在のものさしを使って布を売る呉服屋があるとしたら、おそらくだれもこれを信用できないでしょう。同じように国家にルールがあっても、もしもそれがむやみやたらに伸び縮みしたならば、国民はたよるべきところを知ることができないので、不平不満を唱えるに決まっています。

ところが、それほど「公平」好きな人間でも、もしもルールというものさしが少しも伸び縮みしない絶対的、固定的なものであったとすれば、必ずやまた不平を唱えるに決まっています。人間は「公平」を要求しつつ同時にルールを憎むものです。したがって人間はきわめて矛盾したわがままかつてな嘘を要求するものだといわなければなりません。

(末広厳太郎『嘘の効用』より抜粋、一部加筆)

※矛盾……つじつまが合わないこと。筋道が通らないこと。